

池河内鳥獣保護区における 鳥類相と哺乳類相

福井県自然保護センター¹

はじめに

「鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律」の一つの目的である鳥獣の保護繁殖のために、各都道府県では鳥獣保護区や休猟区が設けられている。1993年現在、福井県では鳥獣保護区が39カ所と休猟区が31カ所設定されている。鳥獣保護区や休猟区の設定・継続を達成するためには、そこで生息または繁殖している鳥類や哺乳類の種や個体数について常に把握しておく必要がある。当県では、鳥獣保護行政に資するためにガンカモ科鳥類生息調査、渡り鳥保全調査および自然環境保全基礎調査などが継続されている。これらの既存の調査資料を保護区ごとに整理することは、保護・管理を行なう上で有益であろう。そこで、今回は池河内鳥獣保護区についてまとめ、これからの保全対策について考察してみた。

調査地と方法

池河内鳥獣保護区は、福井県敦賀市池河内(35° 39'N, 136° 8'E)に位置し(図1)、面積700haの広さである。当保護区は、森林鳥獣生息地として指定されている(福井県1992a)。

ここでは、1973年～1975年に福井県自然環境保全基礎調査(福井県 1976)、1978年に環境庁委託第2回自然環境保全基礎調査(福井県 1978)と1989年～1993年に冬期にガンカモ科鳥類調査(福井県 1989, 1990, 1991, 1992b, 1993)および1992年に渡り鳥保全調査(福井県自然保護センター 未発表)が行なわれた。福井県自然環境保全基礎調査では、既存資料の整理と現地調査により生物相を記録していた。第2回自然環境保全基礎調査では、聞き取りにより哺乳類の種を記録していた。ガンカモ科鳥類調査では、1月15日またはその前後日に池河内湿原にある阿原ヶ池とその周辺で観察された鳥類の種と個体数を記録していた。渡り鳥保全調査では、夏期と冬期に、池河内湿原の周辺に2～3kmのラインを設定し、鳥類が出現しやすい朝方に歩き、観察範囲を限定しないで出現したすべての鳥類の種、個体数を記録していた。

記録された鳥類の渡り性については、「福井県の鳥獣」(福井県 1982)に従い、生息環境は、黒田(1982)の分類する林野(森林など)、原野(草原など)、移水帯(溪谷、干潟など)、水帯(水面など)、農耕地(畑地、果樹園など)、居住地(市街など)に従ってまとめた。

1. 〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2

執筆者：大迫義人

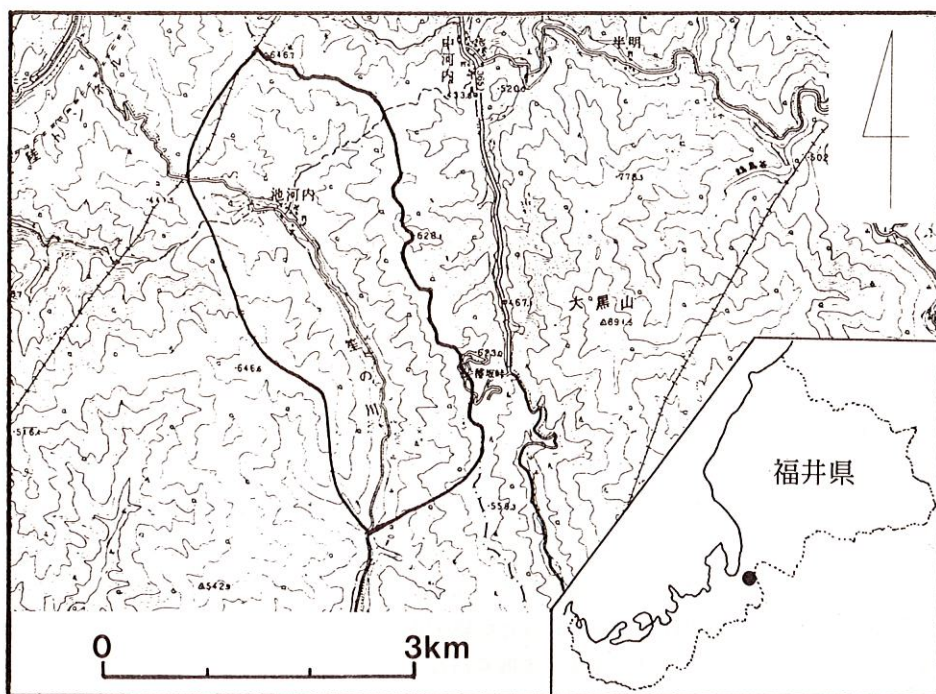


図1. 池河内鳥獣保護区の位置.

Fig. 1. Location of Ikenokochi Wildlife Protection Area.

総説と考察

1. 鳥類相と哺乳類相

現在までに記録された鳥類種、哺乳類種とその学名は表1, 2に掲載した.

1975年～1993年までに、計10目25科52種の鳥類が記録されていた(表1). 福井県の鳥類は1982年までに18目54科274種が確認されているが(福井県 1982), そのうち19.0%が記録されたことになった. 全記録種のうち、林野(いわゆる森林性)の鳥類は33種で63.5%を占めていた(表1).

繁殖の確認された鳥類種はわずか2種だけであった. これは、夏期の調査が少なく、かつ調査頻度が少ないためである. しかし、夏期の調査で記録された種は、その確認がなくても繁殖の可能性はある.

1973年～1975年と1978年の調査で計5目7科9種の哺乳類が記録されていた(表2). 確認された種はほとんど中型以上のものであり、ネズミ類やモグラ類も生息しているはずであるが記録されていなかった.

この鳥獣保護区では、環境庁の指定した絶滅危惧種としてオオタカ、希少種としてオシドリ、トモエガモ、ハイタカ、ブッポウソウが記録されていた(環境庁自然保護局野生生物課 1991). オオタカは、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種でもある(環境庁野生生物保護行政研究会 1993). これらの種が生息していることは、当保護区の重要性を示している.

表1. 池河内鳥獣保護区における鳥類リスト.

Table 1. List of bird species recorded in Ikenokochi Wildlife Protection Area.

目 Order	科 Family	種名 Species	学名 Scientific name	渡り性 ¹ Migration	生息環境 ² Habitat	調査年							
						1975 ³	1980 ⁴	1989 ⁵	1990 ⁵	1991 ⁵	1992 ⁵	1992 ⁶	1993 ⁵
ツル ガ ハ ネ	ツル ガ ハ ネ	ツル	<i>Nycticorax nycticorax</i>	渡鳥	水田								
		ツル	<i>Act. galericulata</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Anas platyrhynchos</i>	冬鳥	水田			136	85	15	1	33	7
		ツル	<i>Anas poecilorhynchos</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Anas crecca</i>	冬鳥	水田			17	107	9	60		40
		ツル	<i>Anas formosa</i>	冬鳥	水田			1					
		ツル	<i>Anas acuta</i>	冬鳥	水田								
		ツル	<i>Milvus migrans</i>	留鳥	林野			1					
		ツル	<i>Accipiter gentilis</i>	留鳥	林野			1					
		ツル	<i>Accipiter gularis</i>	留鳥	林野								1
ツル ハ ネ	ツル ハ ネ	ツル	<i>Accipiter nisus</i>	留鳥	林野								1
		ツル	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥	原野								
		ツル	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥	林野, 居住地						4	3	4
		ツル	<i>Cuculus poliocephalus</i>	留鳥	林野							1	
		ツル	<i>Strix uralensis</i>	留鳥	林野								
		ツル	<i>Eurystomus orientalis</i>	留鳥	林野								
		ツル	<i>Alcedo atthis</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Balcyon coromanda</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Picus awokera</i>	留鳥	水田			1	2			2	1
		ツル	<i>Dendrocopos major</i>	留鳥	林野						1		1
ツル ハ ネ	ツル ハ ネ	ツル	<i>Dendrocopos kizuki</i>	留鳥	林野								
		ツル	<i>Hirundo rustica</i>	留鳥	水田, 居住地								
		ツル	<i>Motacilla cinerea</i>	留鳥	水田							5	
		ツル	<i>Motacilla grandis</i>	留鳥	水田							2	
		ツル	<i>Pericrocotus di varicatus</i>	留鳥	水田			3					2
		ツル	<i>Speotytoes auratus</i>	留鳥	林野, 居住地							10	
		ツル	<i>Larus bucephalus</i>	留鳥	原野						4	16	10
		ツル	<i>Circus pallasi</i>	留鳥	水田						1		1
		ツル	<i>Troglodytes troglodytes</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Phoenicurus aureus</i>	留鳥	水田						1		
ツル ハ ネ	ツル ハ ネ	ツル	<i>Turdus cardis</i>	留鳥	水田								1
		ツル	<i>Turdus pallidus</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Turdus naumanni</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Cettia diphone</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Aegithalos caudatus</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Parus montanus</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Parus ater</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Parus varius</i>	留鳥	水田								
ツル ハ ネ	ツル ハ ネ	ツル	<i>Parus major</i>	留鳥	水田			1	1		2		10
		ツル	<i>Sitta europaea</i>	留鳥	水田								5
		ツル	<i>Emberiza cioides</i>	留鳥	水田, 原野			3	1		1	17	
		ツル	<i>Emberiza rustica</i>	留鳥	水田, 原野						13	2	26
		ツル	<i>Carduelis sinica</i>	留鳥	水田							10	
		ツル	<i>Carduelis spinus</i>	留鳥	水田						15		
		ツル	<i>Uragus sibiricus</i>	留鳥	水田			1					
		ツル	<i>Eophona personata</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Sturnus cineraceus</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Corvus glandarius</i>	留鳥	水田								
ツル ハ ネ	ツル ハ ネ	ツル	<i>Corvus corone</i>	留鳥	水田								
		ツル	<i>Corvus macrorhynchos</i>	留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田			2	1		1	2	2
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
		ツル		留鳥	水田								
10 目	25 科	52 種				13 種	24 種	14 種	12 種	7 種	20 種	30 種	22 種

*: 繁殖の確認された種.

1: 福井県 (1982) による.

2: 黒田 (1982) の分類による.

3: 福井県 (1976) による.

4: 福井県自然環境保全調査研究会 (1985) による.

5: ガンカモ科鳥類生息調査報告書による.

6: 平成4年度渡り鳥保全調査報告書による (未発表).

表2. 池河内鳥獣保護区における哺乳類リスト.

Table 2. List of mammal species recorded in Ikenokochi Wildlife Protection Area.

目 Order	科 Family	種名 Species	学名 Scientific name	調査年	
				1975 ¹	1978 ²
霊長 兎 齧歯 食肉	マカ クサ リス ク イ イ イ	マカ	<i>Macaca fuscata</i>		○
		クサ	<i>Lepus brachyurus</i>	○	
		リス	<i>Petaurista leucogenys</i>	○	
		ク	<i>Selenarctos thibetanus</i>		○
		イ	<i>Vulpes vulpes</i>		○
		イ	<i>Martes melampus</i>	○	
		イ	<i>Mustela itatsi</i>	○	
		イ	<i>Meles meles</i>		○
偶蹄	カ	カ	<i>Cervus nippon</i>		○
5 目	7 科	9 種		4 種	5 種

1: 福井県 (1976) による.

2: 福井県 (1978) による.

2. 保全対策

野生生物の保護・管理とは、ある環境で野生生物の貴重な個体群を繁殖・増殖させるアート（技術）であり、直接的に狩猟個体数を調節したり、移植したり、また間接的に生息地を管理したりする（Bailey 1984）。そのためには、常に野生生物の生息状況や個体群動態についてモニターし、生息地の保全対策を立てたり改善したりすべきである。

池河内鳥獣保護区では、池河内湿原にある阿原ヶ池でのガンカモ科鳥類の調査がほとんどであり、森林鳥獣生息地として指定されながら、森林性鳥獣、特に哺乳類の生息調査が不足している。また、鳥類相に関する調査はほとんど冬期に行なわれており、夏期および春秋の渡り時期の調査が少ない。今後の調査が待たれる。

池河内鳥獣保護区の核となる池河内湿原はヤナギトラノオ *Lysimachia thyrsiflora*、ヤチスギラン *Lycopodium inundatum* やハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea* などの生息するすぐれた自然環境を有するために自然環境保全地域に指定されている（福井県 1977, 1985）。この地域の保全のために、特別地域、野生動植物保護地域、普通地域などの区分けがなされ、木竹の伐採や排水などの規制が設けられている（福井県 1977）。これから、これらの保全対策を継続し、徹底すべきであろう。

また、当保護区は1994年（平成6年度）に更新拡大の予定である（福井県 1992a）。森林性鳥獣の生息調査が不足しているものの、池河内湿原のような貴重な生息地が存在することからも、保護区として継続すべきであろう。

謝 辞

文献整理を谷口明里さんに行なっていただいた。ここに記して感謝する。

要 約

福井県の池河内鳥獣保護区の鳥類相と哺乳類相について文献を整理しまとめた。10目25科52種の鳥類と5目7科9種の哺乳類の生息が記録されていた。その中で環境庁の指定した危急種としてオオタカ、希少種としてオシドリ、トモエガモ、ハイタカ、ブッポウソウが記録されていた。当保護区は、自然環境保全地域に指定されている池河内湿原が存在し、かつ貴重な野生鳥獣の生息も含めて重要な地域である。さらに、鳥類、哺乳類の生息についてモニターし、保全対策を講じてゆく必要がある。

引用文献

- Bailey, J. A. 1984. Principles of Wildlife Management. 373pp., John Wiley & Sons, New York.
- 福井県. 1976. 福井県自然環境保全基礎調査報告書. 298pp. 福井県.
- 福井県. 1977. 池河内自然環境保全地域に関する保全計画. 9 pp. 福井県.
- 福井県. 1978. 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書（哺乳類）. 45pp. 福井県.
- 福井県. 1982. 福井県の鳥獣. 240pp. 福井県.
- 福井県. 1985. 池の河内湿原の保全対策調査報告書. 26pp. 福井県.
- 福井県. 1989. 昭和63年度ガンカモ科鳥類調査報告書. 18pp. 福井県.

- 福井県. 1990. 平成元年度ガンカモ科鳥類調査報告書. 15pp. 福井県.
- 福井県. 1991. 平成2年度ガンカモ科鳥類調査報告書. 18pp. 福井県.
- 福井県. 1992a. 第7次鳥獣保護事業計画書. 51pp. 福井県.
- 福井県. 1992b. 平成3年度ガンカモ科鳥類調査報告書. 18pp. 福井県.
- 福井県. 1993. 平成4年度ガンカモ科鳥類調査報告書. 18pp. 福井県.
- 福井県自然環境保全調査研究会. 1985. みどりのデータ・バンク総括報告書. 281pp. 福井県.
- 環境庁自然保護局野生生物課 編. 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—脊椎動物編. 331pp. 日本野生生物研究センター, 東京.
- 環境庁野生生物保護行政研究会. 1993. 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律. 317pp. 東京.
- 黒田長久. 1982. 鳥類生態学. 614pp. 出版科学総合研究所, 東京.

The fauna of bird and mammal of Ikenokochi Wildlife Protection Area

Fukui Nature Conservation Center¹

The fauna and breeding status of birds and mammals in Ikenokochi Wildlife Protection Area were reviewed. A total of 52 bird species of 25 families of 10 orders was recorded, of which 2 species bred. The majority of recorded species was forest birds. A total of nine mammal species of seven families of five orders was recorded. There were recorded Northern Goshawks as vulnerable species and Mandarin Ducks, Baikal Teals, European Sparrow Hawks, Eastern Broad-billed Rollers as rare species that Environment Agency has registered. More surveys are needed to establish management arts in the area after monitoring the status of distribution and breeding of wildlife.

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi, Fukui 912-01

Written by Yoshito Ohsako.

